

平成28年度

講座案内 年間計画

講座名 イキイキ人間学 (人権教育連続講座)

人権が尊重され、明るく住みよいまち倉敷をつくるためには、一人ひとりが生きがいを持ち、地域に住む人々の幸せを願い、人々が力をあわせ、理解と協力の輪を広げていくことが大切です。そこで、今年度も人権意識の高揚をめざして、イキイキ人間学講座を次のとおり計画いたしました。市民の皆様、人権学習推進委員会の推進委員、事務局員の方々ふるってご参加ください。

時刻・会場 14:00～16:00 ライフパーク倉敷 中ホール

(1) 7月22日(金) (中ホール)	岡山大学大学院 保健学研究科 教授 中塚 幹也 先生	「性同一性障害を取り巻く社会的課題」 性同一性障害とは心の性(性自認)と身体の性が異なる状態であり、自身の身体に違和感を持つ状態である。文部科学省は自殺や不登校予防のため、性同一性障害の子どもたちへの支援を進めおり、医療との連絡も求められている。また、「自殺総合対策大綱」改正で、性的マイノリティへの相談窓口を開設する自治体も増加しており、性同一性障害を取り巻く社会的課題について考えたい。
(2) 8月10日(水) (中ホール)	多文化共生センター大阪 代表理事 田村 太郎 先生	「多文化共生と地域の未来」～外国人住民とともに暮らす～ 日本で暮らす外国人の数は2015年には過去最高を更新している。そして、その約半数の人が日本の永住資格を持っている。ともに地域をつくっていく仲間としての外国人住民が直面している課題やこれからの多文化共生社会の形成に向けて、他地域での事例も交えながら望まれる取り組みについて考えていきたい。
(3) 9月16日(金) (中ホール)	医療法人万成病院 多機能型事業所ひまわり 施設長 田淵 泰子 先生	「インクルーシブな社会へのはじめの一步」 ～共に学び合い、共に支え合う地域づくり～ 「インクルーシブ」とは、障がいのある人となない人が分け隔てられることなく、誰もが排除されない社会を意味する。しかしながら、精神障がいへの偏見は根強く、当事者は病等をカミングアウトできず、苦しんでいるのが現状である。一人ひとり誰にも起こりうる「こころの病」の正しい知識を持ち、学び合うことからインクルーシブな社会について共に考えたい。
(4) 10月14日(金) (中ホール)	弁護士 川崎 政宏 先生	「刑を終えて出所した人」～更生と社会の理解～ 刑を終えて出所した人たちに対する偏見や差別は根強いものがあり、社会復帰のためには、周りの人の理解や協力が必要である。刑を終えて出所した人たちの抱える課題と取り巻く問題を取り上げ、私たちに何ができるか(更生を支える人たちや組織等について)考えてみたい。
(5) 11月18日(金) (中ホール)	岡山県消費生活センター 消費者教育コーディネーター 矢吹 香月 先生	「消費者被害と人権」～消費者の人権に配慮し、寄り添うために～ 空気を意識して生活していますか。空気は意識することなく当然あるものだと思いませんか。私たちは人権も意識することなく生活していますが、突然侵害されたときにはじめて人権を意識し、人権の大切さを痛感します。こうした人権を消費者の視点で捉え、消費者市民社会についてみなさんと一緒に考えます。

☆ 対 象 ・市民 ・人権学習推進委員 ・事務局員 等 約60名

☆ 一括申込みの締め切りは、6月24日(金)としますが、その都度申込み参加することもできます。

☆ 問い合わせは、ライフパーク倉敷 市民学習センター (係)福島頭・松本千秋 まで
TEL 086-454-0011

※ 各中学校区の人権学習推進委員1名は、必ず参加してください。

※ 諸会議や機会あるごとに、イキイキ人間学講座への参加を呼びかけるとともに、研究成果を発表する場の設定についてご配慮ください。

※ 基幹公民館においては、地区公民館長会などで随時紹介し、一人でも多くの参加者を募ってください。

